

–“ふるさとちば”のための政策推進を◆



県議会員 林もとひとレポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

九十九里浜の津波対策工事

延長17年、27年度完成目指す



本会議で委員長報告をする林幹人県議

右岸側が平成26年度に完成する見込みであることを明らかにしました。用地買収などが絡む左岸側も早期の完成を目指し、事業を推進していきました。答弁しました。

林もとひと 県議・プロフィール

○略歴○

昭和48年 9月	銚子市に生まれる
平成 4 年 3月	銚子市立銚子高校卒業
平成 8 年 3月	玉川大学文学部卒業
5月	米国ロードアイランド州語学留学
平成10年 4月	空港グランドサービス入社
平成12年 4月	衆院議員・山崎拓秘書
平成15年 4月	衆院議員・林幹雄秘書 (成田市担当)
平成19年 4月	千葉県議会議員初当選
平成23年 4月	千葉県議会議員再選

○現職○

- ・県議会 県土整備常任委員会委員長
 - ・自民党 ちば青年局・青年部広報委員長

今回の補正予算案が台風26号での災害復旧費が主体となつたところから、氾濫して多数の浸水被害をもたらした一宮川の治水事業を取り上げられました。

現在、一宮川では昭和46年に着工した河口から7キロメートル区間の治水工事が進められていますが、県河川整備課長はこれまでに河口から5キロメートルの区間の工事が

一宮川河口から5キロ
治水工事ほぼ完成

平成24年度同期と比較すると42億900万円の増加まで、台風26号によって被災した公共土木施設の原形復旧工事に係わる経費24億7200万円を全額繰越しましたためだということです。繰越しを設定した理由として、用地買収の難航により用地の取得が遅延したもののが29%、関係市町村などとの協議に時間を要したもののが28%、騒音問題など地主との調整に時間を見たものが23%となりました。

と県担当者から説明されました。
現在、津波対策を実施している九十九里浜の現状と今後の見通しでは、対策が必要な延長 17キロメートル のうち旭市で500㍍の工事が実施され、来年度は残る区間にについても工事着工に努めて平成27年度の完了を目指して津波対策を推進していくたいと答弁がありました。

この説明に対して、委員から「27年度完了を実現するためにも、多少工事費が上がつても、早期の実現に向けて努力して欲しい」と要望されました。

予算は年度内に使いきることが原則ですが、何らかの理由で年度内に支出を完了できない見込みである場合は、県議会の議決を経て翌年度に繰り越して使用できると定められています。これを繰越明許といいますが、委員会では12月補正予算での県土整備部に係わる繰越明許設定額について質問があり、一般会計・特別会計合わせて157億8400万円であることが明らかになりました。

県土整備部関連の予算繰越額が増加



 @matchbite884

Facebook 林 幹 人

ホームページ 林もとひと

検索



見えなくなった通学路横断歩道

速やかな修復実現

成田市 かな修復実現
請えで県警に要請

成田市飯伸に位置し、およそ500人の児童が通う平成小学校の通学路として利用されている横断歩道が、長年の風雨と車両の通行によつてほとんど消えてしまつていました。何とかしてほしいという地域の要望を受け、県警に早急な対応を求めたところ、年度内予算で修復することが出来ました。

通学路安全確保の一助となれたのではとホツとしているところですが、引き続き地域の皆さんからいただいている要望に対応できるよう尽力してまいります。

(林幹人)



したためです。この臨時財政対策債の償還は、国が行うので、実質、県の借金にはなりません。

県債残高の内訳は、この臨時財政対策債等が1兆3650億円（前年度決算額比1482億円増）、建設地方債等は発行抑制に努められた結果、前年度決算額より276億円減つて1兆6023億円となっています。

なお、12月補正で9億円が追加発行されるため、12月補正後の県債発行は昨年度比117億円増の総額2640億円になります。

県政に新風 市民の声を生かします

●県政や成田市への相談・要望はお気軽にどうぞ

〒286-0134

林 もとひと

成田市東和田569 なるげや陶器ビル3階D号
TEL.0476-20-0884
FAX.0476-20-0885
E-mail: metchito884@gmail.com

12月補正予算48億2000万円

補正予算規模は48億2000万円で、内訳は台風26号による被害への対応が43億6000万円、職員の給与改定を行うための人員費の増額分4億6000万円です。この補正予算額が追加された結果、平成25年度予算総額は1兆6012億7100万円となりました。

財源として県税10億6300万円、国庫支出金28億5600万円が充てられ、残りの9億100万円は県

昨年末の12月定例県議会で県の平成25年度一般会計の12月補正予算案が審議され、原案通り可決承認されました。平成25年10月16日に関東地方を襲った台風26号によつて損壊した公共土木施設や農業用施設復旧などのための経費が主なものでです。

台風26号被害を復旧 道路、農業施設など修復

債券を発行して充てることになりました。



札幌駅前通り地下歩行空間を視察する林幹人県議(中央)

補正予算で行われる台風26号による被害への対応では被災した道路復旧のため補助事業で3億7170万円、単独事業で3590万円を計上、河川海岸の公共施設復旧では補助事業17億9460万円、単独事業

建設地方債などは減少

県債残高2兆9673億円

25年度発行額2640億円

県の財源不足を補うために県債が発行されていますが、平成25年度12月補正後には、満期一括償還分の積立金残高を控除した実質的な県債残高が2兆9673億円に達することが明らかになりました。

平成24年度決算額と比較すると1206億円増加していますが、これは国が地方交付税として千葉県に交付する財源が不足し、県がその振り替え財源として発

6830万円、港湾の公共施設修復に単独事業で120万円を振り分けました。損害を被つた県営かんがい排水施設などの農業用施設復旧には2億2000万円を補正しました。また、被災した農地・かんがい排水施設等の農業用施設の復旧にかかる経費について12億7000万円を土地改良区等に助成します。

さらに被災者の経済的負担を軽減するため、生活再建資金や住宅の補修費、中小企業の設備などの復旧経

費などの借り入れに
対する利子補給を実
施します。

**林もとひと
オフィシャルサイト**

<http://www.motohito884.com/>

「新しい成田を目指して」

「月間コラム」毎月15日更新

政策・提言やプロフィール等を紹介しています。ブログやフェイスブック・ツイッターもこのホームページにございます。